



### 次期学習指導要領改訂を踏まえた校内研究の充実に向けて

各学校におかれましては、本年度の校内研究の成果と課題を整理し、次年度構想の検討を進めておられること存じます。目指す子供像や育成を図る資質・能力を意識しながら、研究主題と授業実践、評価の在り方との一貫性を大切に取組を進められていることに、深く敬意を表します。

さて、中央教育審議会では、次期学習指導要領改訂に向けた議論が進められています。現行学習指導要領が掲げる「資質・能力の育成」を基盤としつつ、その育成をより確実なものとするための授業改善の深化が重視されています。とりわけ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を往還させる学習過程の構築、探究的な学びの充実、指導と評価の一体化の推進が重要な視点として示されています。

これらの動向は、新たな理念を付け加えるものというよりも、これまで各校が積み重ねてきた実践を、育成を目指す資質・能力との関係で捉え直し、その成果を具体的な子供の姿で明らかにしていくことを求めるものです。したがって、校内研究においては、研究主題がどの資質・能力の育成を目指しているのかを明確にし、単元構想や学習活動、評価標準との整合を図ることが重要となります。研究の目的と授業実践が一貫しているかを丁寧に検証することが、研究の質の向上につながります。

また、「〇〇の効果的な活用や特別支援教育の視点を踏まえ、多様な子供一人一人の学びを保障する、取組も欠かせません。学習履歴や振り返りを通して、子供が自らの学びを自覚し、次の学びへと主体的につなげていく姿を育むことが、これからの授業改善の柱となります。協働的な学びにおいても、単なる話し合い活動にとどまらず、課題解決に向けて考えを比較・検討し、理解を深める学習過程の構造化が求められます。こうした国の動向を踏まえると、次年度の研究設定においては、「方法」から出発するのではなく、「どのような子供を育てたいのか」という目指す子供像から構想することが一層重要で、その上で、自校の児童生徒の実態を的確に把握し、育成を目指す資質・能力を焦点化した研究主題を設定することが求められます。あわせて、成果指標や検証方法を整理し、実践・検証・改善のサイクルを組織的に機能させる体制づくりも必要です。

校内研究は、学校全体で共有する授業改善の羅針盤です。国の議論を自校の実践と結び付け、研究主題・実践内容・評価の在り方を一貫させることが、教育課程の着実な実施につながります。次年度の研究構想を見据え、今ある取組を資質・能力の視点から捉え直し、より実効性のある校内研究へと発展させていくことを期待しています。

### 法定研修(初任研2/6・中堅研1/30)修了

研修期間中は、各小中学校長、園長先生をはじめ指導教員の方々、関係機関の方々等、学校内外での初任者・中堅研修者への指導について、大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。本研究所は、次年度以降も充実した研修になるよう尽くして参ります。今後とも、関係の皆様のご理解、ご支援をお願い申し上げます。

以下、研修者の感想(事後アンケート)を紹介いたします。

#### 初任研

・2年目研修に向けて、自ら動く姿勢を持ち、失敗を恐れずに挑戦をしていこうと感じました。生徒理解については、今以上に生徒の話に耳を傾けて、生徒をどのように育みたいかを考える視点を身につけたいと思います。

・2年目を迎えるにあたり、初任研で多くの先生方から学んだことを生かし、新しいことややってみようことに挑戦し、学校のために動けるようになりたいと感じました。日々楽しみながら子どもたちと向き合っていきたいです。

・今回の研修で、一年間の学びを振り返ることができました。この一年間の学びを2年目以降に活かしていけるように成果と課題を明確にし、改善策を考えながら2年目以降に課題を上げていきたいと思いました。

#### 中堅研

・一年間の研修を通して、中核的な役割を果たす立場にある事を再確認しました。また、課題研究の報告会を通して、今後の実践に生かせる点が多くありました。今回の学びを、今後の授業や学級経営に役立てていきたいです。

・特定課題研究の報告会においては、教科、校種はそれぞれ違いますが、参考になる部分がたくさんあったので、ぜひ授業実践で生かしていきたいです。また、今後は、ミドルリーダーとしての自覚をもち、自己研鑽に励んでいきます。

・今年度は様々な研修を通して新たに学ぶことが多く、自分自身を成長させる良い機会となりました。学校という組織を支える教員になれるよう、これからも精進していきます。

・中堅研を全て終え、学校の中核リーダーとして学級運営に携わり、子どもたち中心の学校づくりに参加したいと思いました。これまでは意識がまだ弱い部分もあったので、今後は強く意識しながら取り組んでいきたいです。

### 令和7年度 第125期教育研究員

2/6(木)	所外講座(教育相談見学会)
2/13(木)	所内講座⑩(情報モラル)
2/17(火)	原稿検討会

### 2月 教育研究所事業

- 5日(木) 初任者研修③並びに閉講式
- 6日(金) NARAE ネット調整会議③(拡大)
- 12日(木) 教職2年目研修③課題研究成果報告会

### 新着図書(2月)のお知らせ

- 『MI：個性を生かす多重知能の理論』 ハワード・ガードナー 小林泰代
- 『わたしだけの宝物をつくる』 アニー・ブロック 金子真弓
- 『マインドセット学級経営』 アニー・ブロック 金子真弓
- 『先生のためのポジティブことば手帖』 野島克行
- 『子どもが授業にグッと惹き込まれる 国語授業 ちょっとマニ』 星野松俊
- 『教師のいらない授業のなやみ方』 若松俊介
- 『心理的安全性を育むサークル対話』 岩本歩
- 『包摂する教室』 小谷綾子
- 『なぜ、それでも子どもに「任せきれない」のか』 内藤睦夫
- 『自由進度学習の課題から考える「自立型往環学習」のススメ』 青山雄大
- 『言語化する力を哲学する』 藤宗太
- 『中学校国語 単元内自由進度学習ガイドブック』 白土瑞樹
- 『イラスト図解で読み解く社会科』 子どもが選び調整しながら学習する 澤井陽介
- 『ファシリテーション型生徒指導』 山中信幸
- 『思考力、判断力、表現力を育む 数学的活動の授業デザイン』 永田潤一郎

☆こちらのQRコードから研究所の新着案内を閲覧できます



### ☆☆☆ 各種研修・講座等 ☆☆☆



教職5年目研修② 1/29



教職2年目研修③ 2/12



中堅教諭等資質向上研修⑩・閉講式 1/30  
講師:比嘉 俊博 氏 代表挨拶:城南小 松田 泰知 教諭



初任者研修③・閉講式 2/5  
講師:奥間 千賀子 氏 代表挨拶:鏡原中 武富 星哉 教諭



初任者研修③・閉講式 2/5  
講師:奥間 千賀子 氏 代表挨拶:鏡原中 武富 星哉 教諭



初任者研修③・閉講式 2/5  
講師:奥間 千賀子 氏 代表挨拶:鏡原中 武富 星哉 教諭



所内講座⑩情報モラル 2/13  
講師:原富 由和 氏



原稿検討会 2/17